

■ 「べにばなネット」って何ですか？

複数の医療機関等（病院、診療所、保険薬局、訪問看護ステーション）で、患者さんの同意のもと、ICT（情報通信技術）を活用し、診療情報を共有する村山地域のネットワークのことで、

このネットワークを構築することにより、病院（急性期医療）、かかりつけ医（回復期医療）、保険薬局や訪問看護ステーションが一体となって、切れ目のない医療サービスを提供することができます。


なお、将来的には、「かかりつけ医」から「高度医療」まで、「医療」から「介護」までを切れ目なく結びつけ、質の高い医療提供体制を目指すとともに、健康で安心して暮らすことができる社会＝地域包括ケアシステムの実現を目指したネットワークシステムです。



● どんな効果がありますか？

- ① 医療情報ネットワークに参加している医療機関の診療情報を共有できるため、地域で一貫した診療が可能になります。
- ② 重複した検査や薬の処方を防ぐことができ、医療費の負担軽減につながります。

【共有する診療情報】 (※)



- 血液検査結果
- お薬の処方
- レントゲン、CT等の画像情報
- 診療録 など

(※) 共有する項目は情報開示病院により異なります。

● 個人情報保護対策は？

- ① 情報の暗号化：厚生労働省のガイドラインに基づいた、高度な暗号化処理により、診療情報を保護します。
- ② 端末の特定：診療情報を参照できるのは、事前に審査を受けて認められた人とパソコンに限られます。
- ③ 閲覧の記録：いつ、どこで、だれが、どの情報を見たかを記録で確認します。
- ④ 医療従事者の責務：医療従事者が守秘義務に違反した場合、罰則が科せられます。

● 医療情報ネットワークに参加するには？

べにばなネットに参加している医療機関等に、「患者同意書」を提出してください。その際、患者さんはご自身の診療情報を共有する医療機関等を指定できます。また、べにばなネットに参加するために、患者さんが負担する費用はありません。